

主な記事

| | |
|-----------------------|-----|
| ニセコ町開基70周年 記念を祝う | 2・3 |
| ニセコ統合中学校 校舎工事、平面略図 | 4 |
| 結核検診を受けよう お知らせ | 5 |
| 町勢要覧できる | 6 |

祝開基70周年記念式

役場庁舎 町民体育館 有線放送電話施設落成 国道5号線 主要道々若内洞爺線町内舗装完成



式辞を述べる笠原町長

喜びの

ニセコ町開基七十周年記念式典

雨あがりの空に、ドドンと火花がうちあげられると、各小中学生のみなさんが、いつせいに小旗をかざし、プラスチックバンド、鼓笛隊を先頭に元気よく旗行列の行進。グラウンドに到着し「ニセコ」の文字を書いて、空から七十周年記念のお祝いにかけた道新セーナ機を歓迎した。

このあと町民体育館で記念式典が挙行され、今日のニセコ町の基礎を築いた先人の開拓精神に感謝の念を捧げ、今後のニセコ町発展を祈って、喜びと感激のうちにニセコ町開基七十周年記念式典が終えられた。

7月号 '67

ニセコ町 開基七十周年記念を祝う

役場庁舎、町民体育館 有線放送電話施設の総合落成式も 町内国道主要道々舗装

ニセコ町開基七十周年記念式典は、役場庁舎、町民体育館、有線放送電話施設、町内の国道五号線、主要道々舗装の落成祝賀の催しを兼ねて、七月一日、午前十一時から町民体育館で盛大に行なわれた。

天井の中央にくす玉を飾り、万国旗を四方にはりめぐらした、会場には、町外百四十名、町内二百四十名の招待者が列席、笠原町国歌斉唱のあと、笠原町



【式場となつた町民体育館】



【感謝状を受ける前高瀬町長】

このあと道知事代理越智後志支庁長、箕輪衆議、福島道議、後志町村会長小林氏、後志町村議会議長長小代理松原氏らに祝辞をいただき、受贈者代表で片山兵治郎氏が謝辞を述べた。

ひきつづき祝宴に移り、舞踊などもあつて、この日は一日、喜びでいっぱいの人たちばかりであつた。

式辞

秀峰羊蹄山麓の町、ニセコ町の山野青葉萌える今日北海道知事を始め、衆議院議員、道議会議員、の諸先生更にはまた、各関係官公衛の各位、並びに町内外来賓各位のご臨席をいただき盛大に開基七十周年記念の式典、並びに役場庁舎、町民体育館、有線放送電話など公共施設の落成、及び町内国道、主要道々舗装完成の祝賀会を挙げて下さることは、私にとりまして身に余る光栄であり最高の喜びでございます。

ニセコ町が世の注目をひくようになりましたのは、今から約七十年ほど前からで、それも特に産業や交通の要点というわけではなく周辺の倶知安、蘭越、真狩などの開発が進むにつれて開発の賜の目を見るようになったのでございます。

記録によりますと、明治二十八年に隣接蘭越町大谷地から新しい土地を求めて清川孫太、中館長太郎、岩上判七氏等が道もない笹やぶを分けて、現在の西富地区に移住、風なお暗いうつそりたる森林に開墾のくわが打込まれたのが本町開拓の始まりでございます。

翌明治二十九年暮、松岡農場の福井集団移民が、倶知安を根拠に現在の有島入口辺に仮小屋を作つて

地、三十年春から本格的な開墾が始められ、また、この年の春、深貝農場が開墾に着手したのに続いて近藤宮田などの入地者によつて開かれ、年を追つて開墾され大小農場が続々と開墾を進め、それまで林や山陰ならなかつた所が、やがて部落に発達し、道路ができて、商店も設けられ、次第に村らしい発展の歩みが続けてきたのでございます。

このようにして開けてまいりました本町は元、室蘭支庁の管轄で虻田村の区域でしたが、明治三十年七月分割されて真狩村の区域となり、明治三十四年十一月、真狩村から分村、狩太村として独立、戸長役場が現在の元町に置かれました。当時の戸数二百九十一戸、人口千五十一人と記録されております。

明治三十七年十月函館、小樽間の鉄道が開通して、狩太駅が現在の地点に設けられてから人口が急に駅附近に増加して、明治三十八年に役場は現在の場所に移転し、市街地ができて上つたわけでございます。

翌三十九年四月一日、二級町村制が施行され、時に戸数千九百九十二戸、人口五千八百九十九人となつた。こえて昭和八年には特別指導村の指定を受け、昭和二十一年五月普通村となり、名実共に完全なる地方自治体となつたのでございます。

戦後観光事業の進展に伴つてニセコが、昭和二十五年八月五日、道立公園に指定されて以来、次第に発展し、昭和二十五年九月一日には、住民待望の町制が施行されたのでございます。

また、昭和二十九年八月天皇、皇后両陛下が北海道ご巡幸の際には、ニセコグランドホテルに御二泊される光栄に浴したのでございます。

農村文化の向上を図るため昭和三十年には、全町農家に有線放送事業が開始され、また昭和三十三年に農村後継者育成の場として、ニセコ高等学校独立校舎が完成、昭和三十五年には、市街地に簡易水道が布設され、またへん地対策としての飲料水供給施設を農部落四地区に実施、無水地帯の解消に努め、昭和三十八年ニセコ連降が国定公園に指定されたのを機会に、昭和三十九年十月一日町名をニセコ町と改め、人口約七千農耕地約五千町歩を数える観光の町、平和な農村が建設されつつありますが、過去七十年に亘る先人の苦闘をしのびますとき感慨無量でございます。

野獸と闘い、困苦欠乏に耐えながら不屈の開拓精神をもつて黙々と大地に取組まれ、今日のニセコ町の基礎を築かれました。幾多の先輩も今日の繁栄の姿をさぞ喜んでおられることか三ページへ続く

と想い、限りない感謝の念を捧げるものでございます。また本日、この式場にご来席をいただいております各方面で功勞のありました方々、並びに年令七十五歳以上に上り、六十以上本町に在住され、直接、間接に町発展にご尽力を賜りました方々に対しても、心からその苦勞に対し深い感謝を捧げるものでございます。

私は、この先輩各位の残された輝かしい伝統を受け継ぎ、全町民と共にますます精進して、理想郷ニセコ町の建設を計りたいと心から念願し、決意を新たにしているものでござい

が高まり資金のめどもつきまして昭和四十二年、四十二年の二ヶ年計画で事業費約七千万円、赤平市佐々木建設株式会社の施工により延面積一千三百二十平方メートルの近代的新建物が落成したのでございます。

また、町民体育館につきましても体育関係機関や青少年が永い間待望していたものでございます。

本体育館は昭和四十年、四十一年の二ヶ年継続事業で赤平市佐々木建設株式会社の努力と協力によつて、本日の会場となる延面積九百七十七平方メートルの近代新設が完成いたしました。この建設費の大部分は国民年金還元融資によるものであることを附言いたします。

【小中学生による旅行列】

今後共、本町発展のためご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。粗辞でございますが式辞といたします。

昭和四十二年七月一日

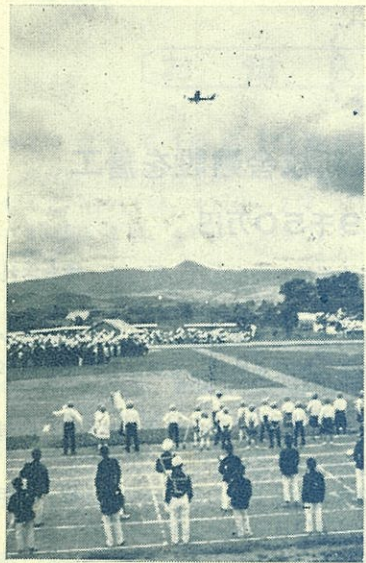
【永年居住者に感謝状を】

伊藤賢次郎(元助役) 中条与四郎(元議會議員)

青羽栄一() 木村至誠() 木村伊太郎() 高橋清左エ門() 狩野善治() 松本伊太郎() 高橋清左エ門() 馬場竹男() 太田四郎() 堀勝() 高橋清左エ門() 清川銀次郎() 鈴木銀十() 入倉藤治() 入倉坂治() 千葉永吉() 佐々木福市() 原マツラ() 大場定雄() 佐藤福太郎() 久保吉三郎() 沢井正() 山田徳治郎() 向井平作() 佐々木正俊()

藤本房次郎(納税組合連合会長) 深貝龍鬼雄(民生児童委員) 奥村喜重() 牧野重() 斎藤見吉() 殿内善太郎(消防団員) 大野幸雄() 清水栄三() 安孫子正直() 米田喜三郎() 今井重春()

永年居住者 鈴木いさ() 堀ヒサ() 下出長市() 藤沢為三郎() 本田靖志() 本田ツノ() 原孫右エ門() 神林ナカ() 寺岡仙太郎() 寺岡よこ() 沢田マツ() 佐藤兼治() 松原志の() 高木嘉兵衛() 佐藤志() 千田はる() 笹塚鈴() 石山たけ() 山本重太郎() 久保三三郎() 山本ハルト() 大沢与太() 濱本ハル() 井上保() 田中トク() 林龜之丞() 村上トメ() 佐藤モト() 石川初太郎() 佐々木福太郎() 石岡松五郎() 安岡イヲ() 大柳ししか() 松谷善太郎() 林乃婦() 木村まつよ() 八巻志つか() 岩崎敏介() 高木すずの



【日の丸の旗をふつて歓迎】

【表彰状感謝状贈呈者】

表彰状 表彰条例による功勞表彰

遠藤数大(自治功勞) 片山兵治郎() 佐藤初一() 亀田貞二郎() 菊地久作(産業功勞) 故深貝喜兵衛() 山田定助(開拓功勞) 故三浦義覚(観光功勞)

感謝状

井原栄松(元村長) 内山憲一(元村長) 高瀬金次郎(元町長) 伊藤由松(元助役) 藤田春勝()

以上概要を申し上げましたが、これらの施設を計画いたしました完成を見ましたのは関係機関各位の懇情溢るるご指導とご支援によるものでありまして衷心感謝を申

【表彰状感謝状贈呈者】

表彰状 表彰条例による功勞表彰

遠藤数大(自治功勞) 片山兵治郎() 佐藤初一() 亀田貞二郎() 菊地久作(産業功勞) 故深貝喜兵衛() 山田定助(開拓功勞) 故三浦義覚(観光功勞)

【表彰状感謝状贈呈者】

表彰状 表彰条例による功勞表彰

遠藤数大(自治功勞) 片山兵治郎() 佐藤初一() 亀田貞二郎() 菊地久作(産業功勞) 故深貝喜兵衛() 山田定助(開拓功勞) 故三浦義覚(観光功勞)

お知らせ

◆ 町営住宅 16 戸 10 月に完成 ◆

今度建てる町営住宅はブロック造り▷第1種、39.1平方メートル=2戸住い1棟、4戸住い2棟、▷第2種、33.8平方メートル=2戸住い1棟、4戸住い1棟で、いま基礎工事が行なわれています。

場所は本通団地に、なおこの工事の建設費は1千230万円で、うち690万円は国庫補助金によるものです。

工事施工者は石塚建設と加賀谷組。完成は10月になります。

◆ 8 月 6 日 町民運動会が開催される ◆

8月6日、日曜日ニセコ小学校グラウンドにおいて、例年のとおり町民運動会が開催されます。

皆さんが参加し、町ぐるみで楽しい1日にするとともに日ごろの運動不足をおぎなつて気力を養いましょう。

実施要項については7月16日公民館で行なわれる駐在員会議で決定されます。

◆ 得な受信料の支払方法 ◆

NHKの受信料は1期分(2ヶ月分)ごとに支払う方法のほかに「1年前納」「半年前納」の方法があります。

契約甲(テレビ)の場合

○1年前前納されますと3,960円のところ3,630円で330円(1ヶ月分)の得

○半月前前納されますと1,980円のところ1,820円で160円の得

契約乙(ラジオ)の場合

○1年前前納されますと、600円のところ550円で50円(1ヶ月分)の得

○半月前前納されますと300円のところ280円で20円の得

1年前前納されますと、8分3厘の割引になり、大変お得になります。皆さま方もぜひご利用ください。利用ご希望の方は集金員、郵便局へお申し出ください。

◆ 近く町道倶知安線道路改良工事着手 ◆

役場前より国道を結ぶ総延長約2.1キロメートル、幅巾8.5メートルの町道倶知安線道路改良工事は近く着手することになりました。今年度実施分はこのうち196.2メートルです。総工費は約1千万円です。

◆ 融雪災害による復旧工事も着手 ◆

去る4月19日~21日に発生した融雪災害による復旧工事
黒川の酒井橋
宮田の絹丘橋
桂台の開拓5号橋

これら3個所の復旧工事を近く行なうことになりました。あわせて昨年発生したルベシベ川南地先護岸災害復旧工事と福井6号線改良工事もあります。

夏休みは規則正しく

遊びは健全に、子どもの趣味

創造力を育てるよい機会です



昭和44年の開校をめざして

ニセコ統合中学校新校舎建設を着工

総工費 9千50万円

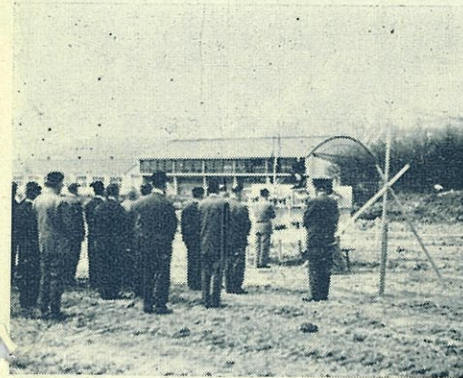
以前のニセコ、近藤、福井の三中学校が廃止され、新しく、統合されたニセコ中学校が設置されました。

5月6日、ニセコ統合中学校新校舎の起工式が行なわれ、公認グラウンドの東南(富士見143番地)に着工、開校をめざして急ピッチで工事が進められております。

校舎の建築は3ヶ年計画で行なわれますが、本年度は一期工事、教室棟3階建、延面積1,029平方メートルが建設されることとなります。

工事施工者は赤平市佐々木建設株式会社で、この完成は、1期、本年10月31日、2期、43年11月30日になつております。

校舎規模の内容、全体工事計画は次のとおりです。



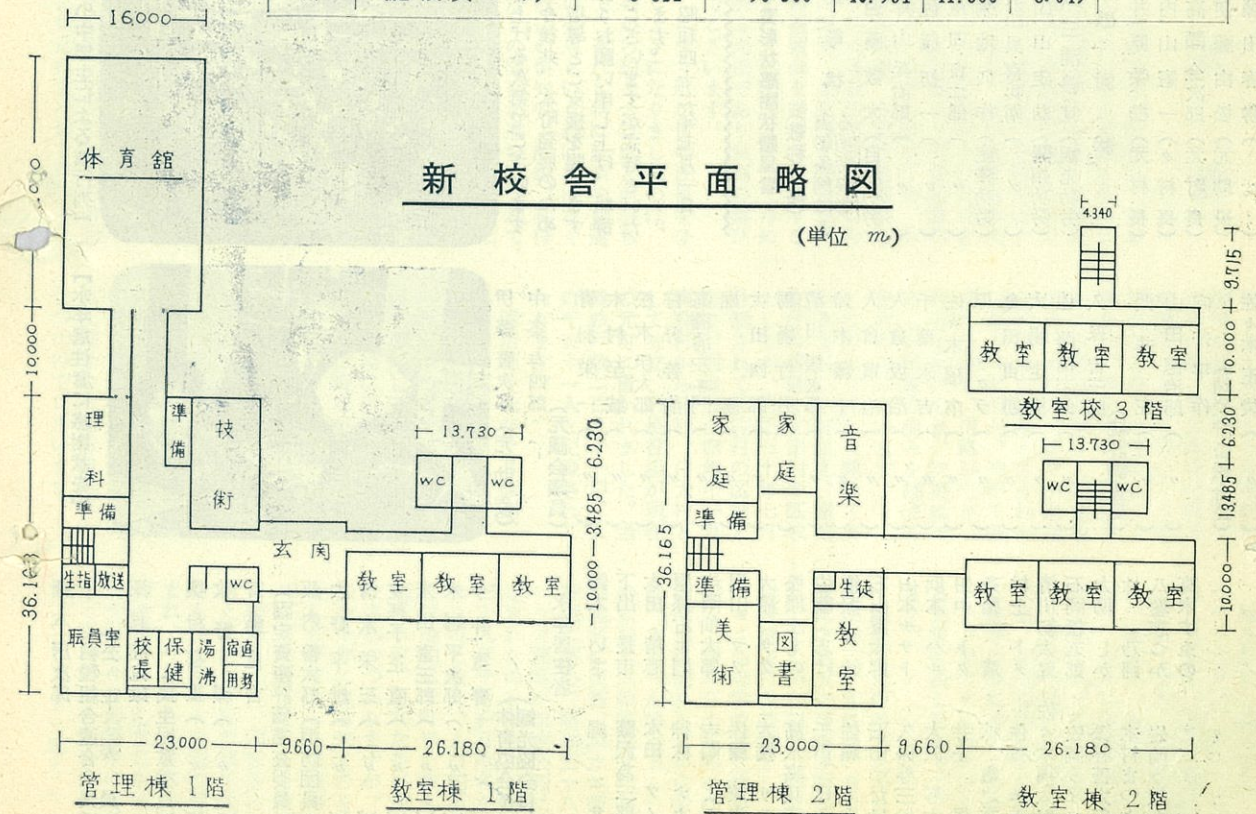
五月六日、教育関係者、工事関係者が集まり、起工式が行なわれた。

ニセコ中学校校舎新築工事計画表

| 年度別 | 施設区分 | 階層 | 構造 | 面積(延) | 金額 | 財源区分 | | | 備考 |
|-----|---------|----|----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------------|
| | | | | | | 国費 | 起債 | 町費 | |
| 42 | 教室棟 | 3 | 鉄筋コンクリート | 1,029㎡ | 31,424 | 13,165 | 13,800 | 4,459 | 財源区分は概算による |
| 43 | 管理棟 | 2 | 同上 | 1754 | 47,378 | 22,433 | 22,100 | 2,845 | 同上 |
| 44 | 体育棟 | 1 | 鉄骨 | 529 | 11,698 | 5,353 | 5,600 | 745 | 同上 工事費も概算による |
| 計 | (施設費のみ) | | | 3,312 | 90,500 | 40,951 | 41,500 | 8,049 | |

新校舎平面略図

(単位 m)



結核検診を

受けよう

健康で明るい生活をする事は皆の願いです。このためには少なくとも一年に一度は結核検診を受け安心して働きましょう。今年もつぎの日程で保健所のレントゲン車があなたの健康を確かめに廻ります。検診はちよつとの時間で簡単に済みます。家族全員が受けましょう。検診日程は次のとおりです。

| 実施場所 | 実施時間 | 8月1日(火) |
|-------------|-------|---------|
| 西富集会所 | 九、三〇 | 〇、二〇 |
| みづほ集会所 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 桂長根勝雄宅 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 更新集会所 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 農協支所 | 一四、〇〇 | 一四、〇〇 |
| 温泉(グラントホテル) | 一四、五〇 | 一四、五〇 |

| 実施場所 | 実施時間 | 8月2日(水) |
|-------|-------|---------|
| 宮小田学校 | 九、三〇 | 〇、三〇 |
| 相馬集会所 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 福井集会所 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 板谷集会所 | 一三、〇〇 | 一三、〇〇 |
| 黒川集会所 | 一四、〇〇 | 一四、〇〇 |
| 宮田集会所 | 一五、三〇 | 一五、三〇 |

本年度全道統計図表コンクールの作品募集を次の要領により実施することになりましたので、多数応募されるよう総務課統計係では望んでおります。

統計図表募集要領

主催 北海道統計協会
後援 北海道教育委員会
目的 道民に対して、統計の表現技術の向上をはかり統計への関心を深めさせるとともに、統計教育の振興に資するものとする

応募資格
第一部(小学校の児童)
第二部(中学校の生徒)
第三部(高等学校以上の)

全道統計図表コンクール応募要領

第四部(一般) 課題 図表の課題は各部とも自由とする

材料の規格
第一部、第二部の用紙規格は72.8cm×51.5cm
(B列2判)
第三部、第四部の用紙規格は10.30cm×72.8cm
(B列1判)

用紙はケント紙とする
その他材料については自由とする。

送付先 役場総務課
締切日 昭和四十二年八月二十日

くわしくは 役場総務課統計係にお尋ね下さい

夏休みは規則正しく

遊びは健全に、子どもの趣味

創造力を育てるよい機会です

